

入間野小学校平成 29 年度前期学校評価



*a (4点) b (3点) c (2点) d (1点) として点数化

*3.4 点以上は A 2.8 点以上～3.4 点未満は B 2.8 点未満は C

NO	項 目	教職員	児童	保護者
1	児童は、分からないことは質問しながら学習している。	C 2.7	B 3.2	B 3.1
2	児童は、文字を丁寧に書いている。	C 2.7	B 3.0	B 2.8
3	児童は、進んで家庭学習に取り組んでいる。	B 2.9	B 3.1	B 2.9
4	児童は、自分から目を見て挨拶をしている。	B 3.0	A 3.5	B 3.0
5	児童は、「オアシスご」を使っている。	B 3.1	B 3.1	B 2.8
6	児童は、集団のために活動に取り組んでいる。	B 2.8	B 3.2	B 3.1
7	児童は、あきらめずに最後まで取り組んでいる。	B 3.2	A 3.4	B 3.1
8	児童は、進んで運動に取り組んでいる。	B 3.1	A 3.5	B 3.3
9	児童は、いざという時の行動の仕方が分かっている。	B 2.8	A 3.8	B 3.1
10	学校は、計算や漢字などの基礎基本を身につけさせている。	A 3.5	A 3.7	B 3.3
11	学校は、自ら考える力をつけている。	B 2.9	B 3.2	B 3.1
12	学校は、安心して過ごせるあたたかな学級をつくっている。	B 3.1	A 3.4	B 3.3
13	学校は、規律ある態度を身につけさせている。	A 3.6	A 3.5	B 3.3
14	先生は、困ったときに相談に乗ってくれる。	A 3.4	A 3.7	B 3.3
15	学校は、体力を向上させるための環境づくりに取り組んでいる。	B 3.1	A 3.8	A 3.4
16	家庭では、健康診断の結果を子供たちの健康管理に生かしている。	B 3.1	B 3.2	B 3.3
17	学校は、美しい環境を保持している。	B 3.1	A 3.4	B 3.3
18	学校は、教育活動を充実させるため、地域や保護者の支援を生かしている。	B 3.2	A 3.8	A 3.4
19	学校は、学年・行事等の会計の処理管理を適切にしている。	A 3.8		A 3.6
20	職員は、意図的・計画的に学年・学級経営を進めることができた。	B 3.1	※以下は、教職員の自己評価結果をお知らせしています。	
21	職員は、校内研修に意欲的に取り組み、自己研鑽に努めた。	B 3.1		
22	職員は、報告、連絡、相談を密にし、意欲的に職務遂行に取り組んだ。	A 3.5		

後期に向けた教育活動改善策・・面倒なことにも、丁寧に取り組む子の育成

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。保護者のアンケート回収率は、92.1 %でした。この結果や各種学力調査を分析し、「2学期からの教育活動改善施策」を立案しました。

- 1年
 - ・場に応じた話し方を教え、そぐわない場合は、言い換えをさせる。
 - ・月曜放課後、担任が引率をしながら、下校指導をする。
- 2年
 - ・言葉づかいが悪い場面では、機会を逃さずに指導し、言い換えをさせる。
 - ・強化月間を設け、連絡帳の文字をきれいにする習慣を身に付けさせる。
- 3年
 - ・役割を与え、集団のために活動できるようにする。
 - ・掃除の仕方を具体的に指導する。
- 4年
 - ・授業中と休み時間の言葉づかいを区別できるようにする。
 - ・文字を書く時間を確保する。
 - ・なぜそのような行動が必要なのか、行為の目的を教え、意味づけをする。
- 5年
 - ・鉛筆の持ち方や学習用具の整備等、丁寧な文字を書くための基盤を大切に指導する。
 - ・家庭学習の状況を互いに学び合うことができるよう、廊下等に展示する。
 - ・何でも質問しやすい学級の雰囲気を作る。
- 6年
 - ・TPOに応じた言葉づかいができるようにする。
 - ・学校図書館に行く時間を確保する。
 - ・見本となる家庭学習帳のコピーを配布し、参考となるようにする。